

四国食品健康フォーラム2017

～ 民間独自の食品表示制度「四国健康支援食品制度」の活用方策について考える ～

フォーラム参加無料
(交流会の参加費2,000円)



史跡高松城跡 玉藻公園
[出典 (公社) 香川県観光協会]

日時 平成29年11月8日(水) 13:10～17:40 (12:00受付開始)
場所 レクザムホール(香川県民ホール) 小ホール棟5階 多目的大会議室「玉藻」
(香川県高松市玉藻町9-10 TEL:(087)823-3131)

健康食品の表示については、消費者庁所管の保健機能食品(特定保健用食品、機能性表示食品など)がありますが、法律上の規定により厳しいハードルが設けられており、認定・届出までに長い期間と多額の費用を要することから、地域の中小食品製造・販売会社にとっては、その活用が難しい状況が続いております。

こうした中、四国においては、平成23年度以降、関係機関ならびに北海道など他地域と連携して、民間独自の食品表示制度(「四国健康支援食品制度」)の創設に向けた取り組みが進められてきました。

これは、保健機能食品とは別に食品の安全性・機能性に関する「科学的根拠の存在」を低コスト・短期間で表示できるというもので、本年6月27日、4県を網羅した形で運用がスタートし、10月下旬頃には、第1回認証食品が誕生することとなっております。

そこで、本フォーラムでは、今回の「四国健康支援食品」の誕生を記念し、日経BP社マーケティング戦略研究所首席研究員の西沢邦浩氏に基調講演をお願いするとともに、本制度の意義・役割ならびに第1回認証食品を発表させて頂いたうえで、地域の食品企業・農林水産業の振興に向け、「四国健康支援食品制度の活用方策」と題して意見交換を行うこととします。

プログラム等の詳細は内面をご覧ください。

主催 (一財)四国産業・技術振興センター
共催 四国経済連合会
後援 四国経済産業局、(国研)産業技術総合研究所四国センター、(独法)中小企業基盤整備機構四国本部、
(予定) (国研)農研機構西日本農業研究センター、(国研)科学技術振興機構、(公財)とくしま産業振興機構、
(公財)かがわ産業支援財団、(公財)えひめ産業振興財団、(公財)えひめ東予産業創造センター、
(公財)高知県産業振興センター、(一社)北海道バイオ工業会、食品機能性地方連絡会、
(特非)中国四国農林水産・食品先進技術研究会、百十四銀行、香川銀行
協力 四国地域イノベーション創出協議会

凡例 (一財):一般財団法人 (国研):国立研究開発法人
(独法):独立行政法人 (公財):公益財団法人
(一社):一般社団法人 (特非):特定非営利活動法人

【お問い合わせ先】

〒760-0033 香川県高松市丸の内2番5号
一般財団法人四国産業・技術振興センター(森)
TEL:(087)851-7081 FAX:(087)851-7027

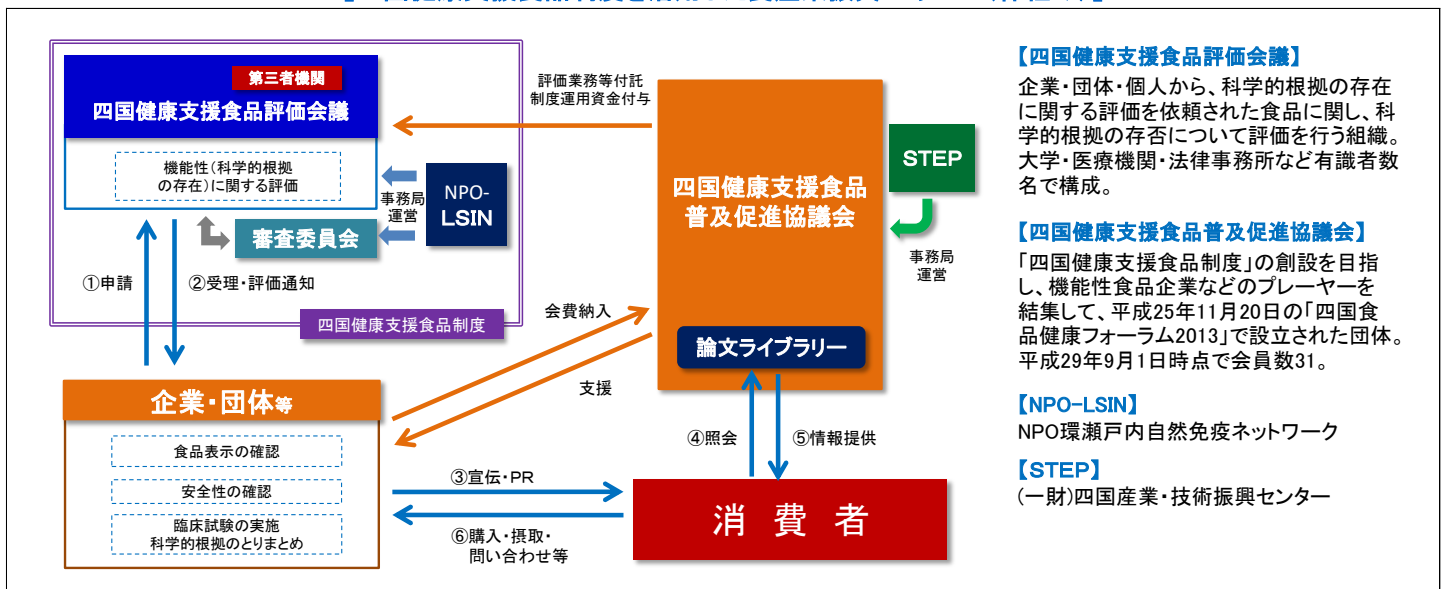
「四国食品健康フォーラム 2017」プログラム

時間	内容等
13:10~13:20	開会挨拶 一般財団法人四国産業・技術振興センター 理事長 中村 進
13:20~14:20	基調講演 「地域独自の素材を活用した健康食品の開発と情報戦略」 日経BP社 マーケティング戦略研究所 主席研究員 西沢 邦浩氏
14:20~14:50	制度説明 「四国健康支援食品制度について」 一般財団法人四国産業・技術振興センター 産業振興部 部長 森 久世司
(休憩 [10分間])	
15:00~15:20 15:20~15:50	認証食品発表・認証書交付 プレゼン 四国健康支援食品制度第1回評価において認証を受けた事業者(※)によるプレゼン (※10月下旬頃、ホームページ等で公表予定)
(休憩 [10分間])	
16:00~17:30	パネルディスカッション 「四国健康支援食品制度の活用方策について考える」 コーディネータ 高知大学 副学長 地域連携推進センター長 教授(地域協働学部) 受田 浩之氏 パネリスト(計4名) 日経BP社 マーケティング戦略研究所 主席研究員 西沢 邦浩氏 自然免疫制御技術研究組合 代表理事 杉 源一郎氏 仙味エクス(株) 代表取締役社長 (四国健康支援食品普及促進協議会会長) 箆島 克裕氏 四国健康支援食品制度第1回評価において認証を受けた事業者
17:30~17:40	閉会挨拶 四国経済連合会 専務理事 石原 俊輔

【座長】
自然免疫制御技術研究組合 代表理事
四国健康支援食品評価会議 代表評価員
杉 源一郎 氏

(本フォーラム終了後、交流会(18:00~19:30)を行います。)

【四国健康支援食品制度を活用した食産業振興スキーム(枠組み)】



基調講演講師、制度説明者、認証食品発表・認証書交付・プレゼン座長、 パネルディスカッションコーディネータ

【基調講演】

「地域独自の素材を活用した健康食品の開発と情報戦略」

【講師】

日経BP社 マーケティング戦略研究所 主席研究員 西 沢 邦 浩 氏

「おいしい+からだにいい」というのが食品の基本要件になりつつあります。また商品に大きな魅力を付加するのが独自のストーリーです。消費者ニーズが高い機能性は何か、そのエビデンスも含めてどうストーリーを構築し、情報コミュニケーションをしていくかといったことについてともに考えます。

【日経BP社】

日経新聞グループの一員として、1969年に設立された出版社(資本金4億円、従業員770人)です。雑誌・書籍などを発行する出版事業、スマートフォン、PC、タブレット端末などに向けて情報発信するデジタル事業、展示会・セミナーなどのイベント事業、調査・コンサルティング事業など、多種多様なメディアとサービスを駆使して、高付加価値の先端・専門情報を提供しています。



【制度説明】

「四国健康支援食品制度について」

【説明者】

一般財団法人四国産業・技術振興センター
産業振興部 部長 森 久世 司
(四国健康支援食品普及促進協議会 事務局員)

本年6月27日にスタートした民間独自の表示制度「四国健康支援食品制度」について、その意義・理念、制度概要のほか、本制度を活用した「食産業振興スキーム」についてご説明させていただきます。



【認証食品発表・認証書交付・プレゼン】

「四国健康支援食品制度認証食品の発表、認証書の交付、認証を受けた事業者によるプレゼン」

【座長】

自然免疫制御技術研究組合 代表理事
四国健康支援食品評価会議 代表評価員
杉 源一郎 氏

「食品本来の表示制度を創設したい」との思いから、「四国健康支援食品制度」の創設に取り組み、約10年の歳月が流れました。

本フォーラムでは、本制度第1回認証食品について発表させていただきますとともに、認証を受けた事業者からプレゼンをお願いすることとします。



【パネルディスカッション】

「四国健康支援食品制度の活用方策について考える」

【コーディネータ】

高知大学 副学長 地域連携推進センター長 教授(地域協働学部) 受 田 浩 之 氏

企業責任で具体的な効能・効果を表示できる「機能性表示食品制度」については、一昨年4月のスタート以降、四国の企業からも何件か届出が出てきておりますが、その運用状況や顕在化した課題等から考えますと、他の保健機能食品(特定保健用食品、栄養機能食品)と同様、地方の企業にとって、その“敷居”は依然として高いままとなっております。

こうした中、一昨年と昨年のパネルディスカッションでは、四国の食産業の振興に向け、もう一段“敷居”を下げた地域独自の機能性表示制度の創設のため、

- ◇ 機能性表示食品制度と四国健康支援食品制度の関係・役割分担
- ◇ 関係行政機関に望むこと

などについて議論させて頂き、その後における関係者の皆さまのご尽力もあって、本年6月27日、本制度がスタートしました。

そこで、今回のパネルディスカッションでは、四国の食品産業あるいは一次産業の活性化に向け、これまでのフォーラムでの議論等の集大成として、「四国健康支援食品制度の活用方策」について議論させていただきます。



申込期限
10月27日(金)

「四国食品健康フォーラム 2017」参加申込書 (平成29年11月8日(水)13:10~17:40)

参加ご希望の方は、以下の太線枠内に必要事項をすべてご記入の上、FAXまたは電子メールにてお申し込みください。(申込用紙は、当センターのホームページからも入手できます)

企業・団体・個人名		
連絡先	TEL:	FAX:
	電子メールアドレス:	
	ホームページURL:	

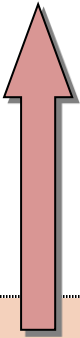
お名前	所属・役職	交流会 (どちらかに○を付けてください。)
		参加 ・ 不参加
		参加 ・ 不参加
		参加 ・ 不参加

【お申し込み先】

FAX: (087) 851-7027 / 電子メール: mori@tri-step.or.jp

(お願い: お申し込みに対するご返答はいたしかねますので、当日会場にお越しください)

ご提出頂きました個人情報、本事業の目的以外には利用いたしません。



【事務局からのお知らせ】

本フォーラム終了後、「交流会」(会費:2,000円※)を開催します。
情報交換の絶好の機会でもありますので、奮ってご参加ください。(※当日、受付でお支払いください)

＜会場「レクザムホール」(香川県県民ホール)へのアクセス、会場案内＞

サンポート高松地下駐車場 (収容駐車台数918台)

四国フェリー乗り場

レクザムホール (ことடன்高松築港駅)

小ホール

大ホール

香川県立ミュージアム

ことடன்片原町駅

高松高等裁判所

会場は「小ホール棟」5Fの「多目的大会議室「玉藻」」です

【駐車場について】

◇ 本ホール専用の駐車場はございません。ホール北側の「香川県玉藻町駐車場」をはじめ、周辺の有料駐車場のご利用をお願いいたします。

	香川県玉藻町駐車場	香川県立ミュージアム駐車場
台数	333台	50台
料金	25分100円	25分100円
時間	24時間営業	9:00~22:00

◇ 各駐車場は台数が限られており、駐車できない場合がございますので、公共交通機関のご利用をおすすめいたします。

(出典)レクザムホール